

平成20年度 医学、歯学、薬学教育 FD/IT 活用委員会概要

- I. 日時 : 平成20年9月8日(月) 14:00-16:00
- II. 場所 : 私学会館 アルカディア市ヶ谷
- III. 出席者 医学 内山委員長、鈴木委員、渡辺委員
薬学 福室委員、高取委員、梶原委員
歯学 神原委員長、片岡委員、斉藤委員、那須委員、藤井委員、岡本委員、森實委員

IV. 議事概要

今回の委員会は、医学、歯学、薬学 FD/IT 活用研究委員会合同の勉強会として、開催された。出席委員は、医3名、歯7名、薬2名であった。

今回は、FD に高い効果をもたらす「プロジェクト学習とポートフォリオ評価」；基本と活用というテーマで2人の講演をお願いした。

テーマ1. 「学生のポートフォリオ」

講師 向井美恵先生(昭和大学歯学部口腔衛生学教室教授)

向井先生からは、「学生のポートフォリオ」について、昭和大学での取組みを講演いただいた。

講演内容

- ・ 昭和大学では、口腔衛生学の教育に、社会と歯科医療を結びつけることを目的にした1-5年まで通して、ポートフォリオを利用し、障害施設の入所患者を対象に実習をしている。
- ・ 1年生では生活と健康をテーマに、外部の施設で早期体験学習を行いながら、気付き、事態や状況を判断できる力を養う教育をし、コミュニケーションを重視した、実習後の振り返りノートや成長報告で、ポートフォリオの導入をしている。
- ・ 2年生では、福祉施設現場で介護による支援をしながら、口腔ケアの体験を入れ、福祉や環境の情報をポートフォリオ化している。
- ・ 3年生では、療育施設で実践診療に携わるなかで、目標の設定、体験、成長報告をすることで、実習の振り返りができるポートフォリオを実践している。
- ・ 4年生では、学内教育が主体になり、CBTやOSCEを導入している。
- ・ 5年生では、口腔ケアの健康支援プログラム(ケアプラン)を学生自ら作成し、施設で実践する。患者の生活機能を評価し、これに基づいて嚥下リハビリや口腔内チェックを行う。患者ごとの支援プログラムを自分で作る。本学習では、目標設定、情報の入手、実践と自己評価、成長確認が一貫された教育システムとして構築されている。
- ・ 6年生には、今までの積み重ねを凝縮ポートフォリオ化して、卒後研修に生かしていく。将来は、デジタル化の方向を目指している。解決すべき問題として、評価基準や他の教科との関連性が挙げられた。

質疑応答

講演後、実際の教育効果についての質問があったが、データとしてのポートフォリオ導入前後の比較が少ないことから、明確な数字の提示はなされなかった。

テーマ2.

FDに高い効果をもたらすプロジェクト学習とポートフォリオ評価・基本と活用」
講師 鈴木敏恵先生（千葉大学教育学部特命教授）

鈴木先生からは、「FDに高い効果をもたらすプロジェクト学習とポートフォリオ評価・基本と活用」について講演をいただいた。

- ・ 教育者の教育能力を高めることがFDで、コンピテンシーとは自らが獲得した知識や技術を現実に生かし、応用（行動）できる力と明確に定義した。
- ・ 自分の頭で考え、自主的に行動できる学生を育てることが教育の目的で、プロジェクト学習とポートフォリオの組み合わせで実現できる。
- ・ プロジェクト学習では、最初に明確なビジョン（目的、願い：何のために行いたいのか）とゴール（具体的な目標）を定め、全体像を掴む（俯瞰）。ゴールに向かって進むその様々な過程で、ポートフォリオとして集めた一元化した情報を使って発表し合い、他の学生と幾つかの情報を共有する。最後に、凝縮ポートフォリオとして、論理的にまとめあげる（思考を可視化することが重要）。社会への貢献性、他人にも役に立つまとめ（エビデンスのある提案）になっているかどうか重点を置いて評価している。
- ・ 自分の考えを客観的に見て、段階的に実現を目指す。その過程で振り返り評価、自己評価を行うので、自分の成長をも確認できる。自己評価については、苦勞した点や思考過程、他人との比較などを具体的に記述する。
- ・ 教育を始める前に、学生に気付き、課題の発見や解決の手順を容易にするために、ポートフォリオを説明し、導入する。最終目標は、具体的に社会に役立つ提案であることを定めている点に、注目したい。最後に凝縮ポートフォリオで自らの思考を客観的にまとめ上げることにより、将来のモチベーション形成に役立つ。

質疑応答

講演後に、医・歯・薬学教育の中で、どう具体的に生かせるのかとの質問が出た。

基本的には、教育にどう対座しているのかという根本問題があり、まず、現状を俯瞰してみる必要がある。（コアカリキュラム、国試など）。その後に、ポートフォリオを導入できる分野が幾つも現れるのではないかと。